

差出人: yamauchi masaki masaki_yamauchi@hotmail.com

件名: 戦士に優しかった名將軍 司马穰苴, 李牧, 李广

日付: 2023/02/27 5:09:09

宛先: masaki_yamauchi@hotmail.com

史記 64

2 史記

2023.02.27

司马穰苴 (史记卷六十四)

士兵們安營紮寨, 掘井立灶, 飲水吃飯, 探問疾病, 安排醫藥, 田穰苴都親自過問並撫慰他們。

還把自己作為將軍專用的物資糧食全部拿出來款待士兵。

自己和士兵一樣平分糧食。把體弱有病的統計出來。

三天后重新整訓軍隊, 準備出戰。

病弱的士兵也都要求一同奔赴戰場, 爭先奮勇地為他戰鬥。

晉國軍隊知道了這種情況, 就把軍隊撤回去了。

士卒が宿営し、井戸や竈を掘り、飲み食いするにも、病気のものをたずね手当させるにも、自身でみてまわり、將軍の用度や食糧はすべて士卒に与えて使わせ、自分の食べる物は士卒と同等にし、中でもやせて弱い者の程度にした。三日たって閲兵したとき、病気の者まで行軍に加わり、ふるい立って合戦に出たいと申し出た。

李牧 (史记卷八十一)

李牧是趙國北部邊境的良將。長期駐守代地雁門郡, 防備匈奴。

他有權根據需要設置官吏, 防地內城市的租稅都送入李牧的幕府,

作為軍隊的經費。他每天宰殺幾頭牛犒賞士兵, 教士兵練習射箭騎馬,

小心看守烽火臺, 多派偵察敵情的人員, 對戰士待遇優厚。

訂出規章說: "匈奴如果入侵, 要趕快收攏人馬退入營壘固守,

有膽敢去捕捉敵人的斬首。"匈奴每次入侵, 烽火傳來警報,

立即收攏人馬退入營壘固守, 不敢出戰。像這樣過了好幾年,

人馬物資也沒有什麼損失。

可是匈奴卻認為李牧是膽小, 就連趙國守邊的官兵也認為自己的主將膽小。

單 (c hán, 纏) 於聽到這種情況, 就率領大批人馬入侵。

李牧布下許多奇兵，張開左右兩翼包抄反擊敵軍，大敗匈奴，殺死十多萬人馬。滅了欒（dān，丹）檻（lán，蘭），打敗了東胡，收降了林胡，單于逃跑。此後十多年，匈奴不敢接近趙國邊境城鎮。

李牧というのは、趙の北方の辺境における名将である。いつも代の雁門にいて匈奴族に備えていた。必要に応じ地方官を任命し、土地の租税はすべてその幕府に収められて、士卒の費用にあてられた。毎日数頭の牛をほふり士たちにふるまい、弓術馬術を調練し、烽火の警報に気をくばり、間諜を多くおき、戦士を厚遇していた。「匈奴がもし略奪に来て、いそいでとりでに入れ。賊をとらえる者は死刑にする」と定めてあった。匈奴が入りこんでくるたびに、烽火をあげて警報が伝えられると、とりでにはいつて、戦おうとすることはない。このようにして数年したが、さして損失はなかった。けれども匈奴は李牧をおくびようだと思い、趙の守備隊でさえ自分たちの大将はおくびようだと

匈奴の王] 単于はそれを聞き、大挙してやって来た。李牧はいろいろと変化した陣をかまえ、左右の翼をひろげ、攻撃して大敗せしめ、匈奴十万余騎をうちとり、檻族をほろぼし、東胡族を撃破し、林胡族を降服させて、単于は逃走した。そののち十年あまり、匈奴は趙の辺城に近づこうともしなかったのである。

李广（史记卷一百零九）

李廣為官清廉，得到賞賜就分給他的部下，飲食總與士兵在一起。

李廣一生到死，做二千石俸祿的官共四十多年，家中沒有多餘的財物，始終也不談及家產方面的事。

李廣語言遲鈍，說話不多，與別人在一起就在地上畫軍陣，然後比射箭，按射中較密集的行列還是較寬疏的行列來定罰誰喝酒。

他專門以射箭為消遣，一直到死。

李廣帶兵，遇到缺糧斷水的地方，見到水，士兵還沒有完全喝到水，

李廣不去*近水；士兵還沒有完全吃上飯，李廣一口飯也不嘗。
李廣對士兵寬厚和緩不苛刻，士兵因此愛戴他，樂於為他所

〔李廣は〕敵に向かえば勇敢であり、士卒には愛情深かった。命令は煩雑でなく、部下はかれを慕った。ゆえに李將軍列伝第四十九を作る――太史公自序

李廣は清廉な人で、恩賞や下賜品を受けるといつも部下に分け与えた。飲食は士卒と同じ物をとった。李廣の一生の間に二千石（一六）の官に就いていたことが四十年余りあったが、家には財産は残らなかったし、死ぬまで家の経済について触れなかった。李廣は大きな男で、うでは猿のように長かった。かれが弓術にすぐれていたのも、その生れながらの資質である。



衛青、霍去病、李広 (史記の中の名将軍)

10月①のごあいさつ

山内公認会計士事務所
2022年10月1日(土)

漢は初代高祖劉邦から六代景帝にいたる数十年間、匈奴に対して常に受け身の立場に立たされてきた。これを逆転し、積極的な匈奴攻撃を実行したのは七代武帝であった。武帝は続々とオルドスの地(内モンゴル等)に討伐軍を送り込み、匈奴との間に大激戦が展開され、幾多の名将が輩出した。

先ず、大将軍衛青。彼は正妻の子供たちから奴隷の扱いを受け、暗い少年時代を過ごした。ところが、同腹の姉、衛子夫が武帝の愛妾(後に皇后)となるに及んで、その運命が一変する。

車騎将軍に取り立てられて匈奴討伐の緒戦に大功を立て、長平侯に封ぜられた。その直後匈奴の右賢王と闘い、これを撃破して、その副王10余人、捕虜15,000人、家畜数十万頭捕獲するという大戦果をあげた。衛青が国境の砦まで引き上げると、武帝は使者に印綬を持たせ、大将軍に昇格させ、諸将の軍はすべて衛青の指揮下に入るようになった。

霍去病は、衛青の甥で、少年の頃から武帝に可愛がられて宮中に出仕していた。十八歳で従軍し、遊撃隊を指揮してめざましい戦いぶりを示し、驃騎将軍に命ぜられた。霍去病は、匈奴の渾邪王を降伏させ、十万と称せられる匈奴を漢に帰属させたが漢の将兵には全く損傷がなかった。

霍去病は若い時から武帝の側近となり、高位についたためか部下を労わることを知らなかった。彼の出陣のとき武帝から車数十台にのぼる珍味佳肴を受け、その食糧はあり余って捨てねばならぬほどだったが、この間、士卒は飢えに苦しんでいた。

これに引きかえ衛青は情け深く謙虚で、穏やかな人柄であった。にも関わらず声望は霍去病に遠く及ばなかった。

匈奴が最も恐れた漢の将軍は李広であった。

李広が右北平の大守として着任した情報はすぐさま匈奴に伝わった。

「漢の飛将軍がきた」と言って恐れをなし、匈奴は以後数年間、右北平には侵入しなかった。李広は金銭に淡泊で下賜された恩賞はすべて部下に分け与え、飲食も常に兵と同じものをとった。李広の兵はいつも強かった。

また、李広は弓の名人で、ある日草むらにある岩を虎と見間違えて矢を討ちかけたところ矢は岩に突き刺さった。そこで改めて矢を討ちかけてみたが、何度試みても岩には二度と突き刺さらなかった。

差出人: yamauchi masaki masaki_yamauchi@hotmail.com

件名: 史记中的名将军 10月的问候 (1)

日付: 2022/12/30 15:10:36

宛先: masaki_yamauchi@hotmail.com

西汉，从第一代刘邦到第六代景帝时期的数十年时期，
对匈奴劣势的地位。

第七代武帝变换这个时代，举行积极的 (ji1ji2) 攻击匈奴。

武帝向内蒙古地方，连续送讨伐匈奴的军队，跟匈奴展开了大激战。

第一，大将军卫青，他和他的儿子们作为奴隶，度过黑暗的少年时代。
但是他的姐姐成了武帝的爱妻（后来皇后），以后他的命运一变了。
他成了皇帝的车骑将军，在匈奴讨伐的诸战做了大功，封为，长平侯。
这以后战了匈奴右贤王，破了敌方收了匈奴副王10余人、
俘虏 (fu2lu3) 15000人、俘获家畜100000头的大战果。
卫青归军国境的要塞，武帝把使者带了印绶，
卫青升格了大将军，就军的将军都卫青的指挥下。

霍去病是卫青的甥 (sheng1)，从少年时武帝的照顾下，
在宫中做官。在18岁初次从军，指挥游击队，成了效果，命骠骑
(piao4) 将军。

霍去病，降伏匈奴禪邪王，十万的匈奴归属汉，而且汉军没有损失。

霍去病从年少时做了武帝侧近，做了高位。

他没有配虑他的部下军士。

出战的时候，收了从武帝很多珍味佳肴 (yao2) 太多。

这个料食要放去。但，这时兵士苦了食粮。

他方卫青有亲切，谦虚 (qian1xu1)，人格高。

但是将军的声望不到霍去病。

匈奴最怕的汉将军是李广。

李广就任右北平太守的时候，这个情报就传匈奴。

以后数年间，匈奴没有侵入右北平。

李广是淡白金钱，下赐的恩 (en1) 赏就部下分配，

食得东西和兵士一样。所以李广的兵士什么时候都强。

李广又是弓的名人。

1 -3.

2023.2.6
2023.1.2

差出人: yamauchi masaki masaki_yamauchi@hotmail.com

件名: 司馬法の兵法

日付: 2022/12/28 6:03:08

宛先: masaki_yamauchi@hotmail.com

司馬法の兵法

齊司馬（軍事長官）田穰苴simarangju的戦法

軍律に厳しく、兵に優しかった司馬穰苴（BC700前後）。

戦国初期、齊の威王は、軍事行動と軍の規律に、司馬穰苴の兵法に従った。

(1) 目的と手段

古は仁をもって本となし、義を持って治む。これを正と言う。

正、意を得ざれば、権す。権は戦いに出、中人に出でず。

この故に、戦いをもって戦いとどむれば、戦うといえども可なり。

古者以仁为本，以义治之。之谓正。

正不获意则权。权出於战，不出於中人。

是故，以战止战，虽战可也。

(2) 戦争と平和

国、大なりといえども、戦いを好めば必ず滅ぶ。

天下、安しといえども、戦いを忘るれば、必ず危し。I

国虽大，好战必亡。天下虽安，忘战必危。

+ 3)

(3) 必要なもの

戦う(事業)には、正当な理由が必要である。

一売上をあげ"る"には、義が必要!!

行動を起こすには、タイミングが必要である。

一利益を得るには、タイミングが大事!!

人を使う(継続)には、温情が必要である。

一継続を得るには、親切が大事!!

作兵義。作事時。使人恵。

働きを重視!!

(4) 健康経営

事業は売上高、原価、経費、利益であり、その要は人の健康である。

-8

(5) 逆

敵にあった時こそ、平静さを失うな。

混乱した時こそ、余裕を持て。

困難に出会った時こそ、部下を忘れるな。

見敵静。見乱假。見危難勿忘其众。

作兵义。作事时。使人惠。

(5) 逆

敵にあった時こそ、平静さを失うな。

混乱した時こそ、余裕を持て。

困難に出会った時こそ、部下を忘れるな。

见敌静。见乱假。见危难勿忘其众。

(6) 知っていることは、はっきり見える

敵情をよく把握していれば、その動きがはっきり見える。

物既章，目乃明。慮既定，心乃强。

(7) ヘタな考え

身体に際してはたじろぐな。敵に遭遇してから作戦を考えるな。

进退

进退无遗疑。见敌无谋。

(8) 見るということ

敵がまだ遠くにいる時は、じっくり観察せよ。恐ろしくなくなるであろう。

敵が近づいたら、寧ろあれこれ観察するな。その方が迷いが生じない。

远者视之则不畏，近者勿时不散。

(9) 胜心と畏心

敵に勝とうとすると、相手のことしか目に入らない。冷静さを失う。

敵を恐れてばかりでは、肝心の相手のことが目に入らない。

両方の釣り合いが重要である。

人有胜心，惟敌之视。人有畏心，惟畏之视。兩心若一，兩利若一。

(10) トップの態度

将がせかせかしている軍は弱く、将がゆとりを持っている軍は強い。

上烦轻，上假重。

(11) トップの気持ち

将が独断的であれば犠牲が大きい。必死になりすぎれば勝ち目はない。

上同无获，上专多死。上生多疑，上死不胜。

(12) 動機

人間を必死にさせるもの、それは愛情であり、怒りであり、権威であり、義であり、利益である。

凡人死爱，死怒，死威，死义，死利。

(13) 情報伝達の手速

全軍への命令は3日以内に、一部隊への命令は半日以内に、1人への命令は即座に！！

凡战，三军之戒，无过三日，一卒警，无过分日，一人之禁，无过瞬息。

(14) 何が難しいか

戦いそのことではない。部下を戦う体制に置く、戦う気持ちにさせる、一番難しいのは、それを実行に移すことだ。

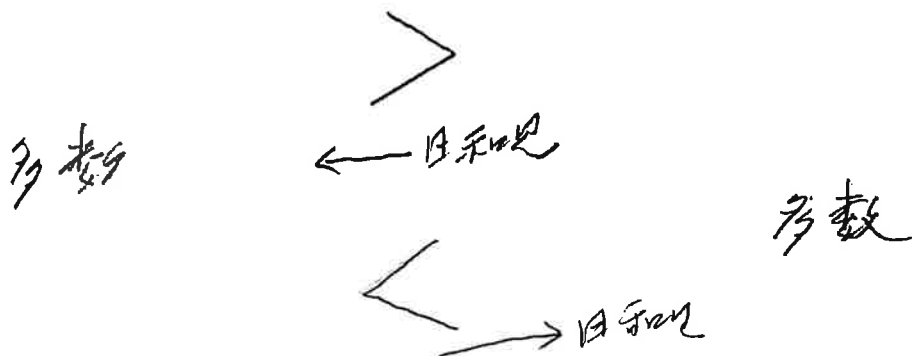
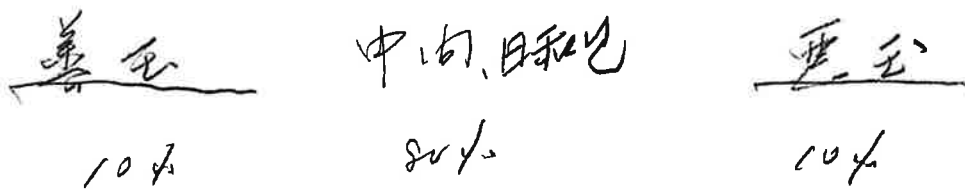
凡戦，非陈之难，使人可陈难，非使可陈难。
非使可陈难，使人可用难。非知之难，行之难。

(15) 兵力に応じた戦い方

兵力少数なら、活発な行動力、多数なら整然とした秩序が重要。

寡利烦，众利正。用众进止，用寡进退。

集団心理と世の中



多数が正しいわけじゃない。
多数は、上から下へ命令の伝達を受ける者

(14) 何が難しいか

戦いそのことではない。部下を戦う体制に置く、戦う気持ちにさせる、一番難しいのは、それを実行に移すことだ。

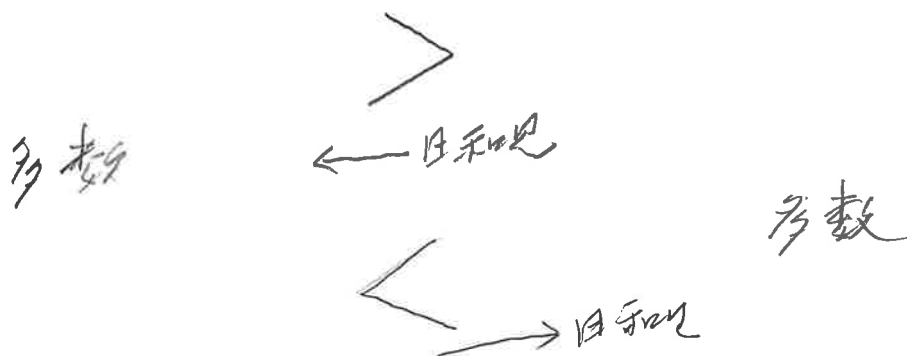
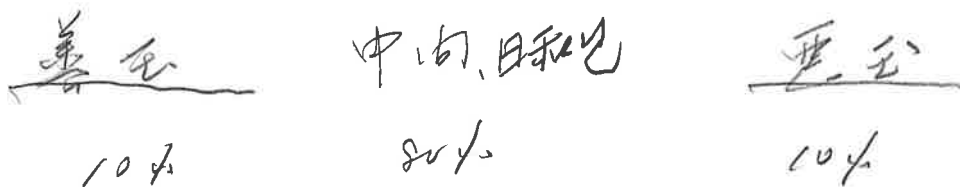
凡戦，非陳之難，使人可陳難，非使可陳難。
非使可陳難，使人可用難。非知之難，行之難。

(15) 兵力に応じた戦い方

兵力少数なら、活発な行動力、多数なら整然とした秩序が重要。

寡利煩，众利正。用众进止，用寡进退。

集団心理と世の中



多数が正しいわけじゃない。

多数は、上から下へ命令の伝達を要するもの

差出人: yamauchi masaki masaki_yamauchi@hotmail.com

2023.1.30

件名: カーボンニュートラルとESG

日付: 2022/12/12 5:33:36

宛先: masaki_yamauchi@hotmail.com

12

カーボンニュートラルとESG

1 カーボンニュートラルとは

実質ゼロ

CO2(温室効果ガス)の排出量の~~中立~~中立(ゼロミッション)

(1) 京都議定書

(2) パリ協定

—ぐるくんの北上—

—銀行のかりゆしの衣替え—

—五十数年前のホーキング博士の予言—

2 ESG投資

(1) 環境 (2) 社会 (3) ガバナンス の3つの観点 から

配慮、重視している企業を投資の対象として選別

—世界全体の投資資産の三分の一を超えている—

3 ESG経営の進展

(1) 清水建設

- ー1災害に強い街をエコで実現
- ー2東日本震災の教訓
- ー3省エネと創エネを非常時のエネルギー確保につなげる

(2) 川崎重工業

- ー1水素社会のトップランナーに、総合水素企業を目指す
- ー豪州ラトロブバレー炭田の褐炭から水素を取り出し日本へ

(11) マテリアリティ

財務会計上、重要な影響を及ぼす要因
企業が優先的に取り組むべき重要課題

(12) CDP

国際CDP事務局が企業の温暖化対策、水戦略、森林対応への状況を質問して、企業の回答をA~Fで採点し、公表

(13) CDP水／森

CDP水は、自社のバリューチェーン上の水に関するリスク調査
CDP森は、森林伐採と土地利用の情報公開

(14) 京都議定書(1977、12、3 2005、2発効)

2008～2012の5年間に、先進国全体で少なくとも
6%削減目標を掲げる
2001、3アメリカが離脱宣言

(15) パリ協定(2015)

2020年からの温暖化対策に関する国際条約
途上国を含む主要排出国が対象
日本は、2030年度に、2013年比で温室ガス排出量を
26%削減する目標
世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2%より十分低く保ち、1.5%
に抑える努力をする

(16) ライフサイクルCO2(LCA)

製品の製造から廃棄までの温室効果ガス排出量の累積CO2換算量
もともと建築物の建設時から、解体廃棄までのLCCO2量

4. 日本の削減目標とビジネスへの影響

このパリ協定の枠組みを受けて、日本でも目標が定められ、さまざまな政策が検討され始めています。

日本の中期目標「2013年度比で26%削減」

日本では、中期目標として、2030年度の温室効果ガスの排出を2013年度の水準から26%削減することが目標として定められました。目標が低いのではないかという声もありますが、各国が自主的に定めた目標は基準年度や指標などがバラバラであるため、比較には注意が必要です。下記は主要排出国の年度を合わせて削減・抑制目標を比較したのですが、日本の数値は一見低いように見えて、かなり高い目標であることが分かるかと思えます。

国名	1990年比	2005年比	2013年比
日本	▲18.0%	▲25.4%	▲26.0% (2030年までに)
米国	▲14~16%	▲26~28% (2025年までに)	▲18~21%
EU	▲40% (2030年までに)	▲35%	▲24%
中国	<ul style="list-style-type: none">2030年までに2005年比でGDP当たりの二酸化炭素排出を60~65%削減2030年頃に二酸化炭素排出のピークを達成		
韓国	<ul style="list-style-type: none">2030年までに、対策を講じなかった場合の2030年比で37%削減		

日本は2013年と比べた場合の数値、米国は2005年と比べた場合の数値、EUは1990年と比べた場合の数値を削減目標として提出比較する年度を「2013年」に合わせて数値を比べてみると、日本の目標は高いことが分かる

(出典) 主要国の約束草案(温室効果ガスの排出削減目標)の比較(経済産業省 作成)

この目標は、決して達成が楽な数値といえるものではありませんが、政府が産業界とともに検討を重ねてきたさまざまな対策が考慮されたうえで積算がなされており、具体的な対策に裏づけされた実現可能性のある内容でもあります。



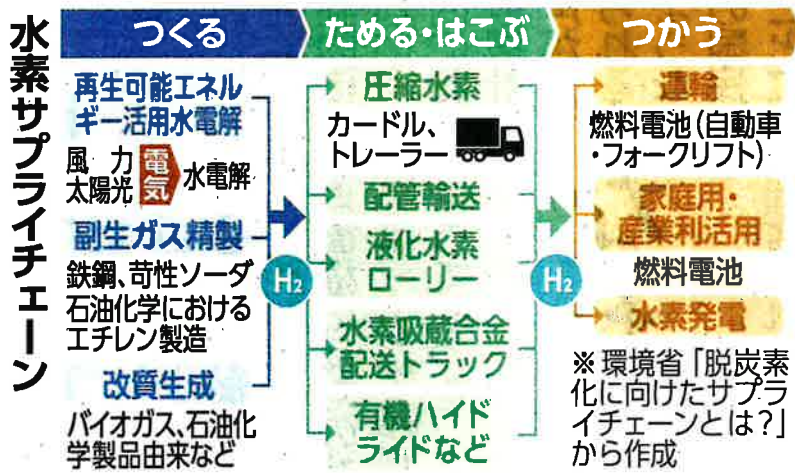
2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

翌21年6月、カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略で、成長が期待される14分野の一つとして水素・燃料アンモニア産業の実行計画が策定されました。

水素は地球上で最も軽い気体で、水や化石燃料といった化合物の状態で存在しているため、多様な資源から生成することが可能とされています。

また利用時には二酸化炭素(CO₂)を排出せず、燃料電

水素サプライチェーン



池を通して電気エネルギーと熱エネルギーが供給でき、災害時に既存の電力インフラが止まった場合でも、水素を貯蔵しておくことでエネルギー供給が可能となります。一方、水素を生成する方法によってはCO₂が発生するケースもあり、製造量拡大や低

脱炭素社会の実現に向けて

コスト化と併せて、さらなる技術開発の促進が必須となっています。

そのような課題を踏まえ、環境省では水素利用時のみでなく、製造時や貯蔵・輸送時なども含め、一貫した取り組みが必要として「水素サプライチェーン」を掲げ、水素社会実現に向け、全国で地域連携・低炭素水素技術実証事業等を推進しています。

沖縄県では今年8月に、うるま市と民間企業3社が水素活用に特化した連携協定を締結し、水素を【つくる】【ためる・はこぶ】【つかう】取り組みが始まりました。

国内の一つ一つの取り組みが脱炭素社会の実現につながることを期待しています。

(おきぎん経済研究所主任 古堅貴仁)

(17) 水素エネルギー

化石燃料を燃やしてエネルギーを取り出すと、CO₂等が生じるが、水素自体は燃やしても水しか生じない

(18) CO₂回収、貯留(CCS)

火力発電所や製鉄所などの大規模排出源から、CO₂を分離回収し、地中や海中に貯留する技術。

(19) ZES/ZEB

ネット・ゼロ・エネルギー住宅、ビル
建物で使用するエネルギーの収支をゼロにする建築物(ZEB)
政府目標は、2030年までに新築ビルのZEBの実現

(20) バイオマス(生物資源)発電

生物(バイオ)の量(マス)
光合成によって外部からCO₂を取り込みエネルギーとする
エネルギー作物のための熱帯雨林伐採による弊害の排除

(21) 自然資本

人間の手で作られる人口資源に対して、森林、土壌、漁業、鉱物、大気など自然の手が生み出す資本

(22)生物多様性(条約)

約40億年に及ぶ進化の過程で生まれた生態系

(23) WET(Whole Effluent Toxicity)

工場からの有害物の環境への影響や毒性の有無を相対評価する生物応答試験

(24) ASC認証

水産物の養殖認証

どこのイフコ？ 何から先か？

2022.12.18

工業療法
泥土松大

売上

沖電視光

木利
ス710

新時代
芸術up

飲食
Filart

新聞
協会

東都博覧会
(原価①)

(ス710)

(木利X)
(ス710)

新時代
芸術up

(飲食X)
(FilartX)

(新聞X)
(協会X)



経費
(同並口)

ス710

(ス710X)

新時代
芸術up

(飲食X)
(FilartX)

(新聞X)
(協会X)

百姓療法

人件費
(原価②)

(ス710)

(木利X)
(ス710X)

新時代
芸術up

(飲食X)
(FilartX)

(新聞X)
(協会X)

経常利益
(粗)

ス710

ス710-△

新時代
芸術up

飲食○
Filart△

新聞△
協会○

工夫
何から先か

(ス710)

(木利○)

(ス710○)

(新時代○)

(飲食○)

(Filart)

(新聞○)

(協会○)